



カット:安部悦子(28年入学)  
「白い街」(南伊オストウ二)

# 会報

第 24 号

東北大学教育学部  
同窓会東北支部

特集・立志のころと現在

## 教師への第一歩

東北大学教育学部同窓会東北支部会員 関本朝吉 (昭和25年入学)

私は、戦争真只中の昭和19年に国民学校高等科2年を卒業した。小作農の4男坊にとって、進学は適わず、軍需工場で働くか少年兵になるしかなかった。現に少年兵を志願して体重不足で不合格となった。そんな時、組担任が教師への道を勧めてくれたのである。当時、男子教員が少なく、その対策として宮城県では「国民学校初等科准訓導養成講習会」を旧制仙台二中に開設した。恩師はそこに推薦してくれた。半年間の受講を終え、年齢15歳准訓導として母校に勤務することになった。初任給32円の辞令は今も手許にある。

ところが1年足らずして終戦を迎え、教育観も180度転換した。新たに勉強したいという意欲が起こり、授業料のいらない師範学校予科に入学した。ここでもまた学制改革によって師範学校が廃校になり卒業できなかった。初志貫徹のためには東北大学教育学部に入学するしかなかった。

卒業後、山形県立高校4年、仙台市立中学校2年、宮城県の公立高校17年、宮城県教育庁12年、更に私立大学と専門学校を合わせると実に60年にも及ぶ。わが人生は、教育の道をひたすら歩んできた、と言える。今はこの事に心から満足している。多くの方々との貴重な出会いがあり、楽しかった数々の思い出と感謝の念が深まるばかりである。

筆者紹介:関本朝吉(せきもと・あさきち)、山形県のち宮城県公立学校教員(国語)。県高等学校長(飯野川高)、県教育長。宮城学院女子大学教授。仙台幼児保育専門学校長、学校法人曾根学園理事長等を歴任。人格高潔なる酒豪である。

### 総会は書面開催

#### 「講演会・懇親会は中止」

令和2年度東北支部第4回(仙台支部第41回)を11月14日(土)と設定し準備を進めて参りましたが、新型コロナウイルス感染防止の視点から8月22日の役員会での意見を踏まえ、やむなく中止する苦渋の決断となりました。参加予定されていた皆様、誠に残念ではありますがご理解を願います。

書面にて協議・報告事項をお知らせし、ご異議がなければ承認とみなし、提案通り執行させていただきます。会報24号の2ページ～4ページに記載の内容をご覧ください、ご意見をお寄せ下さい。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

# 東北大学教育学部同窓会東北支部総会

## 令和2年度第4回（仙台支部第41回）

- 支部総会（書面による開催）
- 記念講演会（開催せず） ○ 懇談会（中止）

### 報告・協議内容

#### 1, 報告

##### (1) 令和元年度事業報告・監査報告

顧問会 第1回～第3回役員会及び総会を予定通り実施しました。

##### (2) 令和元年度会計決算報告

- ① 収入は会費240人分240000円でした。協力金は130人337110円でした。
- ② 支出では、通信連絡費を除いて予算内で執行できました。雑費の貸し付け利息は、会費が入ってくるまでにお金が不足しましたのでゆうちょ銀行から借りましたので、そのための利息です。

##### (3) 監査報告

新型コロナウイルスの感染防止のため個別に監査しました。

#### 2, 協議

第1号議案 令和元年度事業・会計・監査報告の承認

第2号議案 令和2年度事業計画案・会計予算案について

- ① 顧問会議は書面にてご意見を頂きました。第1回役員会は新型コロナウイルス感染防止のため中止しましたが、他は予定通り提案しました。
- ② 新型コロナウイルス感染防止のため総会は書面による開催、講演会・懇談会は中止となりました。
- ③ 決算結果を踏まえて予算を組みました。収入では会費は240名分としました。支出では事務手当については支部長・事務局補佐が、複雑な仕事をしてきているのに事務手当がなかったため2名分増額しました。

第3号議案 会則改正について

旧

第1条 この会は、東北大学教育学部同窓会東北支部と称し、事務局を事務局長宅に置く。

新

第1条 この会は、東北大学教育学部同窓会東北支部と称し、所在地を東北大学教育学部同窓会事務局内（宮城県仙台市青葉区川内27-1）に置く。本会事務局は事務局長宅に置く。

#### 『説明』

会費処理会計の変更により口座の代表者と印鑑登録を届け出たが、銀行から会の所在地の記載のない会則では受付できないとの回答があり手続きに支障をきたしていることから、上記の通り所在地を明記することとしたものです。

- ※ 同封のはがきでご意見等をお寄せください。返信のない場合はすべて承認・賛成とさせていただきます。

## 令和元年度 東北支部事業報告

**顧問会・監査会**  
3月30日(土)  
午前10時00分～  
会場：文系総合研究棟  
第1回支部役員会

**第2回支部役員会**  
8月17日(土)  
午後1時～  
会場：文系総合研究棟  
306教室

**教育学部同窓会東北支部  
第3回(仙台支部第40回)**  
11月16日(土)13時～  
会場：文系総合研究棟大会議室

**第3回支部役員会**  
2020年1月11日(土)  
午後5時～  
会場：ホテルJALシティ仙台

3月28日(土)中止  
顧問会 書面開催  
監査会 個別対応  
※コロナ対策のため変更

**協議事項** ①役員補充について  
②令和元年度第3回総会時講師について ③その他  
④平成30年度会計監査

**報告事項** ①平成30年度東北支部事業報告・会計決算報告  
②令和元年度東北支部事業計画・支部会計予算案

**協議事項** ③令和元年度第3回総会時講師について ④令和元年度東北支部総会について ⑤「会報23号」発行について ⑥役員改選(事務局・年度理事改選)について ⑦東北支部での会員増について ⑧その他  
令和元年度東北支部第3回(仙台支部第40回)総会について  
①講演会講師・演題の確認 ②総会・講演会・懇親会における理事の役割分担 ③第3回支部役員会における理事の役割分担 ④その他(各委員会から) ★10月1日「会報23号」発行

**連絡事項** ①支部総会案内状・会報・会費納入振替用紙等の発送事務について(発送月日9月28日(土)10時から教育学部) ②第3回支部役員会の日時と協議事項・連絡事項

**総 会 講 演 会**  
①平成30年度事業報告及び会計報告について  
②平成30年度会計監査報告の承認について  
③令和元年度事業計画及び会計の中間報告について  
講師・演題 宮腰英一氏「比較教育学を目指して:英国の～エアリアスタディを中心に～」  
(会場：文系総合研究棟中会議室 15:15～17:30)

**記念講演 懇親会**  
協議事項 ①東北支部第3回(仙台支部第40回)総会の反省事項  
②令和元年度東北支部事業計画・会計予算案について  
③役員会・総会の持ち方について  
④東北支部第4回(仙台支部第41回)総会日時の確認  
○役員補充について  
○令和2年度第4回総会時講師について ○その他  
※アドバイス記入用紙を送付しご意見を伺った。  
○令和元年度会計監査(最終的には7月14日に終了)

## 令和元年度 東北大学教育学部同窓会東北支部会計決算報告

令和2年3月31日

### I 一般会計

#### 1. 収入の部

(△ 予算との比較減B-A 単位:円)

項 目	今年度予算額A	今年度決算額B	比 較	備 考
会 費	270,000	240,000	△ 30,000	会費240名分
繰 越 金	201,196	201,196	0	前年度繰越金
雑 収 入	1,014	6,000	4,986	懇親会残金
合 計	472,210	447,196	△ 25,014	

#### 2. 支出の部

(△ 予算との比較減B-A 単位:円)

項 目	今年度予算額A	今年度決算額B	比 較	備 考
事 務 局 費	195,000	145,031	△ 49,969	
①印 刷 費	70,000	18,567	△ 51,433	印刷、コピー代等
②消 耗 品 費	8,000	8,662	662	用紙、インク代等
③備 品 費	0	0	0	
④事 務 手 当	25,000	25,000	0	事務手当
⑤通 信 連 絡 費	90,000	91,722	1,722	総会、役員会案内
⑥雑 費	2,000	1,080	△ 920	謝礼
会 費 振 込 費	45,000	2,278	△ 42,722	会費振込手数料他
会 議 費	40,000	10,934	△ 29,066	役員会他
会 報 費	75,000	64,800	△ 10,200	
①印 刷 費	65,000	64,800	△ 200	会報印刷代
②通 信 連 絡 費	10,000	0	△ 10,000	会報担当通信費等
総 会 費	35,000	35,000	0	
①会 場 費	0	0	0	
②表 示 関 係 費	5,000	5,000	0	表示作成費
③装 飾 費	0	0	0	
④講 演 会 費	30,000	30,000	0	講師謝礼
慶 弔 費	10,000	0	△ 10,000	弔電等
雑 費	10,000	16	△ 9,984	貸付利子
予 備 費	62,210	4,860	△ 57,350	土産代等
運 用 基 金	0	0	0	
合 計	472,210	262,919	△ 209,291	

3. 残 高 447,196円 - 262,919円 = 184,277円(次年度へ繰越)

#### II 運用基金



1. 前年度繰越 900,000円 + 収入0円 - 支出0円 = 差引残高900,000円(ゆうちょ銀行、定期積立)

III 協 力 金 337,110円(139名)

## 会 計 監 査

令和元年度、東北大学教育学部同窓会東北支部の会計決算にあたり、会計出納簿・領収書・通帳を点検したところ、適正に処理されていたことを報告いたします。

令和2年7月14日

監査 吉野 信武   
監査 井原 佳宏 

## 令和2年度 東北支部事業計画(案)

<p><b>顧問会・監査会</b> 3月 顧問会 書面開催 監査会 会計委員の各監事個別対応 <b>第1回支部役員会(中止)</b> 5月16・17日(土・日) 午後1時30分～ 会場：文系総合研究棟 306教室</p> <p><b>第2回支部役員会</b> 8月22日(土) 午後1時30分～ 会場：文系総合研究棟 11階中会議室 教育学部同窓会東北支部 <b>第4回(仙台支部第41回)</b> 総会 書面による開催 11月14日(土)午後1時～ 会場：文系総合研究棟大会議室 <b>第3回支部役員会</b> 3年1月16日(土) 午前11時～ 会場：ホテルJALシティ仙台</p> <p><b>顧問会・監査会</b> 3月27日(土) 午前10時～ 会場：文系総合研究棟</p>	<p><b>協議事項</b> ①役員補充について ②令和2年度第4回総会時講師について ③その他 ④令和元年度会計監査</p> <p><b>報告事項</b> ①令和元年度東北支部事業報告・会計決算報告 ①令和元年度東北支部事業報告・会計決算報告の承認 ②令和2年度東北支部事業計画・支部会計予算案 ③令和2年度第4回総会時講師について ④令和2年度東北支部総会について ⑤「会報24号」発行について ⑥役員改選(事務局・年度理事改選)について ⑦東北支部での会員増について ⑧その他 令和元年度東北支部第4回(仙台支部第41回)総会について ①講演会講師・演題の確認 ②総会・講演会・懇親会における理事の役割分担 ③第4回支部役員会の日時と会費について ④その他(各委員会から) ★10月1日「会報24号」発行 ①支部総会案内状・会報・会費納入振替用紙等の発送事務について(発送月日10月3日(土)10時から教育学部) ②第3回支部役員会の日時と協議事項・連絡事項</p> <p><b>協議事項</b> ①令和元年度事業報告及び会計報告について ②令和元年度会計監査報告の承認について ③令和元年度事業計画及び会計の中間報告について</p> <p><b>議 演 会</b> 中止</p> <p><b>懇 親 会</b> 中止</p> <p><b>報告事項</b> ①東北支部第4回(仙台支部第41回)総会報告 ②令和2年度東北支部事業・支部会計中間報告</p> <p><b>協議事項</b> ①東北支部第3回(仙台支部第40回)総会の反省事項 ②令和3年度東北支部事業計画・会計予算案について ③役員会・総会の持ち方について ④東北支部第5回(仙台支部第42回)総会日時の確認 ①役員補充について ②令和3年度第5回総会時講師について ③その他 ④令和2年度会計監査</p>	<p><b>連絡事項</b> ①令和元年度東北支部事業報告及び会計報告について ②令和元年度会計監査報告の承認について ③令和元年度事業計画及び会計の中間報告について</p> <p><b>総 会</b> 中止</p> <p><b>議 演 会</b> 中止</p> <p><b>懇 親 会</b> 中止</p> <p><b>報告事項</b> ①東北支部第4回(仙台支部第41回)総会報告 ②令和2年度東北支部事業・支部会計中間報告</p> <p><b>協議事項</b> ①東北支部第3回(仙台支部第40回)総会の反省事項 ②令和3年度東北支部事業計画・会計予算案について ③役員会・総会の持ち方について ④東北支部第5回(仙台支部第42回)総会日時の確認 ①役員補充について ②令和3年度第5回総会時講師について ③その他 ④令和2年度会計監査</p>
--	---	---

### 令和2年度 東北大学教育学部同窓会東北支部会計予算(案)

令和2年4月1日

#### I 一般会計

##### 1. 収入の部

(△ 予算との比較減B-A 単位:円)

項 目	前年度予算額A	今年度予算額B	比 較	備 考
会 費	270,000	240,000	△	30,000 会費
繰 越 金	201,196	184,277	△	16,919 前年度繰越金
雑 収 入	1,014	1,023		9 懇親会残金等
合 計	472,210	425,300	△	46,910

##### 2. 支出の部

(△ 予算との比較減B-A 単位:円)

項 目	前年度予算額A	今年度予算額B	比 較	備 考
事 務 局 費	195,000	179,000	△	16,000
①印 刷 費	70,000	30,000	△	40,000 印刷、コピー代等
②消 耗 品 費	8,000	9,000		1,000 用紙、インク代等
③事 務 手 当	25,000	35,000		10,000 事務手当
④通 信 連 絡 費	90,000	100,000		10,000 総会、役員会案内
⑤雑 費	2,000	5,000		3,000
会 費 振 込 費	45,000	5,000	△	40,000 会費振込手数料他
会 議 費	40,000	30,000	△	10,000 役員会等
会 報 費	75,000	75,000		0
①印 刷 費	65,000	65,000		0 会報印刷代
②通 信 連 絡 費	10,000	10,000		0 会報担当通信費等
総 会 費	35,000	35,000		0
①会 場 費	0	0		0 会場使用料
②表 示 関 係 費	5,000	5,000		0 表示作成費
③講 演 会 費	30,000	30,000		0 講師謝礼
慶 弔 費	10,000	10,000		0 弔電等
雑 費	10,000	10,000		0
予 備 費	62,210	81,300		19,090 旅費卒業祝賀会費
運 用 基 金	0	0		0
合 計	472,210	425,300	△	46,910

##### II 運用基金

1. 前年度繰越 900,000円
2. 収入 0円
3. 支出 0円
4. 差引残高 900,000円(ゆうちょ銀行定期預金)

##### III 協力金 337,110円(ゆうちょ銀行普通預金)

## 蹴とばし一途に

伊藤 孝夫 (25年入学)

入学の昭和25年は日本の経済復興の端緒となった朝鮮戦争と、学生運動の走りといわれた東北大でのイールズ事件の年でもあった。

中断していた蹴球部も評定河原で活動しており、各学部のサッカー好きの集まりであり、青春を語り燃焼するにはベストな仲間であった。

北大との定期戦も復活し、28年7月、札幌遠征に参加、残念ながら1-1の引き分け、終了後の交流コンパは赤レンガの札幌ビール工場での飲み放題。両チームしたたか飲んで繰り出し繁華街でのストーム。市電が止まり、乗客の誰もが文句もいわず、乱痴気騒ぎを眺めていた。若者の集団を大目にみてる寛容さがあった良き時代だった。

昭和29年卒、宮工高の体育教師、高校(全国選手権4回出場。3位1回。ベスト8、1回)東北大サッカー部監督兼任。選手としては宮城教員チームの一員として国体10回出場(優勝1回、3位3回)40年に東北工大に移った頃から、県、東北、日本サッカー協会に携るようになったが、工大職員クラブのメンバーとして仙台実業団サッカーリーグ戦に参戦、53才まで汗を流していた。

平成9年県内で60才以上の愛好者の生涯スポーツの受け皿として結成された宮城フェニックスチームの一員として現在も毎週木曜日の練習に顔を出し、毎年行われる全国「0-80」(オーバー80)交流試合の出場を楽しみにしている。

伊藤孝夫(いとう・たかお)、宮城県公立学校教員(体育)。のち東北工業大学教授。名誉教授。宮城県サッカー協会名誉会長、仙台市スポーツ協会名誉会長。

## 私の履歴書

渡辺 雄彦 (27年入学)

世界恐慌下の昭和8年、相馬の片田舎に農家の二男として生まれる。画用紙もなく、乾いた地面に薬缶の水で大きな絵を描いて遊んでいた少年が戦争中は専ら戦争画を描き、終戦まもなく旧制の県立相馬中学校に進み、迷うことなく美術部に入る。美術部には優れた先輩が多くいて強い影響を受け、中学3年時に古い用具を譲り受けて油絵を始める。学制改革により高校まで同じ美術部で6年間過ごし、高校3年次には部長を務める。

先輩達が揃って美大に進学するのを見て自分も美大受験を志すも、貧しさ故に「自宅から通える国立大学」という親の許容範囲に従って東北大学教育学部(美術専攻)に進み、そこで東北大学に着任したばかりの若き杉村惇先生に出会う。この出会いが私が画家を志して光風会展、日洋展、日展に出品するようになったきっかけで。

大学卒業後は教職との両立を考えつつキャンパスの前に立ち続け、日展の入落に挫折を味わいながら精一杯生きて来た。その結果が日展で特選2回、更に審査員をつとめるも何故か満足感が得られなかった。それは87才になった今でもまだ心の底から納得のいく作品が描けていないからだと思う。だから今でも学ぶ心は失っていない。

今を精一杯生きること、明日があること、これが生涯現役で生きるための原動力になっている。まだやりたいことがあるので死ぬ訳にはいかない。  
渡辺雄彦(わたなべ・たけひこ)、宮城県公立学校教員(美術)。宮城教育大学教授。附属幼稚園園長。名誉教授。日展会員。宮城県教育文化功労賞、地域文化文部科学大臣表彰を受賞。



安部悦子(28年入学)  
「サッソ・ルンゴ」(北イタリア)

## 遠き日の尚心寮の回顧 — 逍遥 2 題 —

鈴鴨 清美 (28年入学)

昭和28年春、北七番丁入寮から同年12月末、中江寮への移転までの尚心寮での生活の中から、今でも懐かしく蘇るのが、同室6人で折に触れて仙台近郊を散策した思い出である。

部屋のメンバーは教育学部生で、4年生3人(多田滋、南條正臣、大橋良邦)、1年生3人(飯島武、内木宏治、鈴鴨清美)。個性豊かな勉強家。先輩3人は議論好きで、深更に及んでも議論に華を咲かせる論客であった。室長の多田先輩は旧制築館中卒業直後2年ほど小学校で代用教員をした俗にいう豆訓導の経験者で一同の先達として重きをなした。

### 逍遥その1 台原「瞑想の松」へ

時は6月、梅雨の晴れ間のある日曜日。先輩の誰かの提唱で、6人揃って台原方面へ散策することになった。寮の北囲いの土手から旧仙台鉄道の軌道跡地と仙山線のレールを越えて、警察学校の射撃場から東北薬科大学の構内に入り、長い階段を登りつめた所が、古木の亭々と聳える瞑想の松であった。1本の老松は樗牛若かりし頃の歴史を語るがごとく観る者に迫り、6人はこぞってある種のロマンをかきたてられたひとときであった。

### 逍遥その2 藤村の歌碑を訪ねて八木山へ

この年の11月、片平丁の正門に集合。広瀬川を徒歩で渡り、追廻から天守台、龍の口の吊橋、隧道、藤村の歌碑に至る。あたりは満目蕭条たるスキの原。近代詩の原点「若菜集」の草枕の一節は苔むした碑の中に辛うじて観て取れた。

同室者たちの今。それぞれの地で教職に就き、初志を貫いて教育界に大きな業績を残している。

鈴鴨清美(すずかも・きよみ)、宮城県公立学校教員、県高等学校長(仙台一高)を経て県教育長。のち宮城学院女子大学主任教授、宮城教育大学副学長。

## ジャーナリズムと美術 — 二つの世界に懸けた夢 —

石澤 友明 (31年入学)

昭和23年疎開先の気仙沼小学校5年の時、神明崎を描いた水彩画が神戸での全国図画コンクールに入選した。これを機に美術に興味をもったが、高校時代は新聞部に所属。美術よりもジャーナリズムに関心が傾いていた。

大学は東北大美術専攻を選んだが、2年修了時、早大出で河北新報記者の兄の勧めで、早稲田の商学部編入、新聞経営ゼミを選んだ。

ゼミの安井俊雄教授(早大教育学部所属、新聞学担当)は朝日新聞印刷局次長だった方で、当時の河北の一力次郎社長とも昵懇。卒業時、河北を受験し一次試験が通った私に推薦状を書いてくださった。就職氷河期の昭和35年4月入社し広告畑一筋に過ごすこととなった。以後37年12年間の東京、10年間の大阪を含め4回の転勤を経験した。

しかし、絵画への夢は捨てがたく、美専同期の浅井元義、早坂貞彦君たちの勧めもあって絵画を趣味として続けた。河北美術展8回入選。昭和63年都展(東京都美術展)初入選以来30年間連続入選し、昨年40号の水彩画「国分町の夜」が同展グランプリ(都知事賞)を受賞した。定年退職後絵画グループを結成し絵画三昧の生活となった。

美術とジャーナリズムは、青年時代、心に期した二つの大きなテーマであるが、ささやかながら二つの分野での夢を果たせ、自らの人生が充実したものであったことをいま幸せに感じている。

石澤友明(いしざわ・ともあき)、本学二年課程美術専攻修了後、早稲田大学商学部編入学。卒業後、河北新報社勤務、大阪支店長。河北折込センター常務取締役を歴任。



安部悦子(28年入学)  
「アント・レーヴ」(北イタリア)

## 青年時代の信念を 貫いた私の半生

高橋 正毅 (31年入学)

自慢ではないが、小中学校時代、私は心身の発達  
が並外れてよかった。学校にはなじめず授業を  
聞いていないことも多かったが、通町小、三条中  
ではいつも学年のトップだった。

小学3年生の頃私の俊敏な身体能力を見抜いた  
ボクシングジム経営者が無料で手解きをしてくれ  
仙台二高の頃にはアマのボクサーとなっていた。  
いつの頃からか、私は何事によらず一所懸命努力  
するなら、必ず大きな成果を上げるという信念  
と自信が心に漲るようになっていた。

卒業後教員になって両親を養い弟3人の学資捻  
出を試みようとしたが薄給では不可能とわかった。  
そこで、自宅に高校受験の進学塾を開いた。交代  
制、常時250名を1人で教え、教員時代の20倍も  
の収入を得て、家計の維持と東北大2人を含む3  
人の弟の国立大学卒業を実現した。

この間、多少の蓄財をし、金融、不動産の仕事  
を始めた。独学で法律・法規を徹底して勉強し複  
雑な事象に遭遇しても弁護士の世話になったこと  
はなかった。今は、医師である息子(東北大医卒)  
が院長をする病院の経営の実務一切を担当してい  
る。

私は学問と仕事が好きである。テレビは見ない。  
娯楽は嫌い。ずるいことは一切しない。ただ、ひ  
たむきに生きてきた。すべては青年時代に培った  
信念に裏打ちされたものであろう。

高橋正毅 (たかはし・まさたけ)、宮城県公立学校教員 (小学  
校)。のち進学塾「高橋学級」開講。「日本電行」(不動産業)  
起業。現在、たかはし内科クリニック経営。日本将棋連盟宮  
城県支部連合会顧問。

## マラソンにはまる

松枝 四郎 (36年入学)

昭和36年入学、農家はコメがあったが現金は  
無い。仙台の叔父の家に寄宿、一部屋で中・高校  
生と一緒に生活だった。2年目は北山に在った仙  
台学生会館に移った。3千円位で1ヶ月暮らせた。  
将来は外国に行きたいという気持ちはあったが、  
英語専攻に行けず、小学校課程のピアノや水泳等  
好きでなかった。

内実も知らず憧れもあってドイツ文学科(英語  
の免許も取れる)に転科しようと考えた。ドイツ  
語の先生にどのように頼んだか思い出せないが、  
勉強を見て貰った。その時言われた言葉に、「自  
分の背丈分、本を読みなさい」が心に残る。幸い  
にもドイツ文学科の転入試験に合格した。未知の  
世界に興味はあったが、就職もあり卒業した。

高校の英語教師となり、英語の勉強よりも、ク  
ラブ顧問としてテニスを覚え先輩の教師に山菜取  
りを教わった。仙台市教育委員会の指導主事を拝  
命、ALT(外国語指導助手)の担当となり中・  
高校へ配置や世話、役所で沢山の事を学んだ。最  
後は鶴谷養護学校、教育の原点を教えて貰った。

30年以上マラソンにはまり、各地の大会で走  
り、退職後、京都や長野、北京等にも参加、観光  
や歴史に触れ、家内や仲間との思い出も出来た。

走りは遅いが、体調良く、人生楽しかったと思  
っている。今年正月から坐骨神経痛に悩んでいる。  
松枝四郎(まつえだ・しろう)、本学文学部ドイツ文学専攻に  
編入学。宮城県公立学校教員(英語)。仙台市教委指導主事。  
市立鶴谷特別支援学校校長を歴任。



安部悦子(28年入学)  
「ピアッツァ・アルメリーナ」  
(イタリア・チンチア島)

## カメラを友に

菅野 正 (39年入学)

私は若い頃いったい何を夢んでいたのだろうか？  
大学時代は教育学部に在籍しながら、職業として教師には向いていないと思うようになった。マスコミを希望して出版社に入った。だが雑誌の取材に追われるうちに、あっという間に歳月が過ぎてしまった。そうして仕事上覚えたのが写真だった。私用でもカメラ持参が多くなり、古い映画館や愛犬（黒柴）等を撮影していた。

「私はやっと自由になったのだ！」60才にして見る夢が本当の夢かもしれません。定年後は、大学時代の友人たちと海外旅行（トルコ、スペイン、ギリシャ、インド他）に行きました。また街の風景などの写真展もやりました。

70才からは、私の第2の故郷、神保町をテーマにしたHP（ホームページ）「定点、神田神保町HP」を配信中です。ぜひ一度のぞいてみてください。（ちなみに私の第1の故郷は仙台市です）

最近では、明け方に見た夢のように大学時代（一年留年）が思い出されるのです。老化のせいでしょうか？

菅野 正（かんの・ただし）、小学館「女性セブン」編集記者。同社「週刊ポスト」編集記者・デスク。

安部悦子(28年入学)「橋のある風景」  
(左:ベネツィア・右:ボスニア)



## 意志薄弱

光井 正 (39年入学)

「男児志を立て郷関を出づ・・・」。幼い頃、父の膝の上で聞いた詩吟だ。「立志」は重く、覚悟を感じる。むしろ、「こうしてみたい」といった程度で、強い心で何かを成し遂げようという気持はなかった。

大学受験はいたってシンプル。進学校ゆえに成績がすべて。その良し悪しで大学、学部が決まる。当時は高度経済成長期。人気学部は工学部。志望はすれど成績は伸びず。一浪後、教育学部へ。大学では、宮城教育大学新設の反対運動で講義のない日が続くなど学習意欲は最悪。

ただ、大学院に進んでみたいという淡い気持はあった。高校教員になって間もない頃、恩師に相談に行ったり、理学部数学科の教授を訪問。試験をすると言われ尻込みして断念。

教員としての素質に悩んでいたときに先輩教員と法律の勉強会をしたり、通信教育に取り組むなど20歳代の教員生活は揺れ動いていた。思いはあったが意志薄弱、長続きせず。能力に自信が持てず、才能に懐疑的、結局は諦めてしまうことの繰り返し。一方で、当時「でもしか先生」という言葉があった。そうはならないようにと「生徒一人ひとりが輝くように」をモットーに一所懸命取り組んできた。

今は卒業生との交流があり幸せだ。トータルには教員で良かった。志も立てず、意志薄弱、何事も中途半端であったが、これで良しの心境である。光井 正（みつい・ただし）、宮城県公立学校教員（数学）。県社会教育専門監、県高等学校長（宮城三女高）、東北生活文化大学高等学校長を歴任。



## 盲亀の浮木、優曇華の

吉川 邦彦 (50年入学)

両親の離婚でつらい中学時代を過ごした私が、青年らしい心を持つようになったのは、義母が嫁いできて19歳離れた弟が生まれたおかげである。弟があまりにかわいく、高校から自宅に帰っては、毎日抱っこしていた。青春時代の強い思い出は、彼の存在が中心で、青雲の志といったものは浅く、大学も行けばいいのかな程度の軽輩であった。

こんな私だが、東北大の教育学部に入れてもらったおかげで、今を何とか生きている。いい加減なキャリア選択だったが、行った場所場所で、本当に素晴らしい出会いをした。書写が無理なので、第二希望でなった高校国語科にいたおかげで国語の指導主事になれた。不適応気味の学生時代のおかげで県教育相談班に呼ばれたのだろうか？高校籍なのに、中学校の校長になったおかげで、現在の富谷市学び支援の仕事にも就けている。

著名な理論の一つに、planned happenstance theoryがある。呼ばれるのもご縁なので、そちらに行ってみてはどうですかという理論である。確かに第一希望でない時もあるが、神仏や運の巡り合わせだから、そちらに出向いて力を尽くさない、ということだと勝手に思っている。

東北大に巡り合い、渡邊支部長や太田先生に出会ったことで、いい人生だと思える自分がある。偶然に赴いた時こそ、「おかれた場所で咲く」ことが大切なのだ、今もずっと思い続けている。吉川邦彦(きっかわ・くにひこ)、本学大学院教育学研究科修士課程修了後、宮城県公立学校教員(国語)。県教育研修センター指導主事を経て、県高等学校長(東松島高校)。学校法人育英学園参与を歴任。

## 当事者・市民の底力で法律を変える

岡本 章子 (58年入学)

「仙台砂漠。」大学入学当時の仙台市は、スパイクタイヤによる路面からの粉塵で健康被害や環境問題が起きていました。ある市民の新聞への投書をきっかけに、市民・医療・環境関係者・大学の先生・仙台市へと次々と繋がりました。「積雪の少ない仙台にスパイクタイヤはいらない」とスパイクタイヤ禁止の県条例ができ、法律ができたのです。

「法律は偉い人が作っていて、私たちは従うだけ」と思い込んでいた私にとって、当事者・市民の底力で法律まで変えることができたという事実は大きな衝撃でした。目の前で起きたその経験により、学部ではNPO・市民の底力を専攻研究し、私の今の人生に繋がっています。

話は変わりますが、今年新型コロナウイルスの影響で、学校が休校となり、在宅だ、オンラインだなど教育環境が揺らぎ、教育機会の格差も深刻となっています。

市民の底力を信じ、教育を学んだ人間として、各教育委員会には今こそレイマンコントロールの実践を期待しています。コロナ禍の中だからこそ、子どもたちへの影響を分析し、激変する環境下でも最善策を講ずる、また変化を見据え、学校教育のあり方を根本から検討し提言することが求められます。国や自治体から独立する組織として、現場や地域の特性を把握し、子どもたちの未来に向けた真の教育へと変える当事者・市民・地域の底力が教育委員の方々にはあると信じています。

岡本章子(おかもと・あきこ)、NTT社員。仙台市議員を経て衆議院議員。



安部悦子(28年入学)  
「ネパールの人たち」

## 「高齢者のメンタルヘルス」

東北大学教育学部・研究科教授 上埜 高志

はじめに

「健康長寿ネット」によれば、高齢者のメンタルヘルス不調の原因はⅠ重大なライフイベントとⅡ加齢による身体機能の低下であり、WHOの国際疾病分類（ICD-10）において「睡眠覚醒障害」があらたに付け加えられたように、『睡眠』が重要な意味を担っている。

### ○不眠疫学

国民の4人に一人は不眠である。不眠は女性に多い。高齢女性で不眠は5割を超えている。

### ○睡眠時間と死亡リスク

死亡リスクが高いのは、睡眠時間が4.4時間以下と9.5時間以上であり、寝れば寝るほど健康にいいわけではない。

○自動車事故の発生時刻や眠気の強くなる時間帯  
アメリカとイスラエルの自動車事故の発生時刻を見ると、夜の2時と午後2時とが多い。睡眠は12時間周期であり、腹がいっぱいになったから眠くなるとも言えない。バス・タクシー・トラック・一般のドライバーの眠気が強い時間帯も同様のため、夜中はあまり運転していない。一方で、大工職人のタイムスケジュールから、昼食を15分・20分で済ませ、その後40・50分軽睡眠をとることで、体調管理していることがわかる。

### ○睡眠と脳波

ネコの睡眠・覚醒などから、睡眠にはREM(rapid eye movement)睡眠と、それとは質の異なるnon REM睡眠とがあることがわかる。このREM睡眠とnon REM睡眠は、90分周期で、一晩のうちに3から5回ほど繰り返す。

終夜睡眠ポリグラフ検査によれば、脳波の周波数などから、睡眠は5段階になると考えられる。入眠までの脳波の違いは、閉眼安静時はβ波（精神活動時にみられる）が現れ、しばらくして緊張が解消されると、α波（正常成人の覚醒安静時にみ

られる）が出現する。次には眠くなるため、脳波の振幅が減弱して軽睡眠の不段階に入り、さらに睡眠の深度が強くなって、典型的なθ波（小児の基本的脳波、成人のまどろみ、認知症・知的障害のある方にみられる）が現れ、そして最も深い睡眠段階では、乳幼児の基本的脳波で、α波よりも周波数の小さい（徐波と言う）δ波が出現する。ポイントは、non REM睡眠である。REM睡眠は、眼球が素早く水平に動き抗重力筋の緊張は消失するものの、交感神経の活動が亢進して脳波もβ波などのように覚醒時と同様のものが現れる。つまり、REM睡眠は体は休んでいるが、脳は活動している状態のため、深い眠りであるnon REM睡眠をいかに上手にとるかが健康に関わってくる。老人は、睡眠周期が乳幼児・小児や成人にくらべて短く、眠りが浅く、午後12時前後にも睡眠希求時間帯があるため、ヨーロッパのシエスタのように、昼12時過ぎの睡眠はとったほうが良い。

### ○睡眠よもやま話

良い睡眠をとるために、睡眠・覚醒を調整する光依存性のメラトニンを作り出すことが体内ホルモンのバランスにも良いと言われてきた。確かにその通りではあるが、今はフレイル（虚弱）を防ぐためには、単純に言えば「筋肉」が大切だと言われている。

日本は先進国の中でも、国民の睡眠時間が最短で、不眠の解消の方法においても、アルコールには頼るけれど、医療（睡眠薬や医師受診）を頼らない国民である。

これからは、高くてもいい寝具や天井照明の工夫、個人の睡眠適時を教えてくれるアプリなどによって、いい睡眠によるいい老後を迎えたい。「うつ」を防ぐためにも、家族の中で「ちゃんと眠れてる？いい睡眠とれてる？」と声をかけあいたい。

参考「健康づくりのための睡眠指針2014～睡眠12箇条」厚労省

## 《東北支部事務局からのお願い》

### 会費納入のお願い

令和元年度の会費納入者は前年比33名減、納入率は40%と3年連続50%割れです。数年前から納入率は低下し続け、支部活動の基盤となる会費の納入は低迷したままです。皆様には活動の活性化を図るためにも会費の納入をお願いします。

### 会費納入方法のお願い

一昨年度までは払込取扱票での払込の手数料を支部本会計で負担しておりましたが、諸費用の値上がり等を受け、昨年度から会費払込手数料を会員個人の負担とさせていただきます。申し訳ありませんが、窓口振込手数料は203円、ATM利用通常払込手数料は152円になります。ATMを利用し負担を少なくして頂ければと思います。郵貯口座をお持ちの方でATM操作に慣れている方々にはATMから払込取扱票を利用しない、割安な手数料で送金できる電信送金(ATM電信振替)を活用されますと手数料は100円(本年4月から値上げ)で済みます。なお、総会等で直接納めて頂ければ無料になります。別添事務局だよりにATM画面操作の仕方を載せておりますので、参考にいただければ幸いです。是非ご覧ください。

### 協力金の御礼とお詫び

昨年突然協力金のお願いを致しましたところ、139名の会員の方々のご賛同があり計337,110円が寄せられました。ありがとうございます。貴重な協力金の使途は役員会の承認のもと、執行にあたっていく事としております。さて、ご賛同頂いた方々のお名前を会報及び事務局だよりに掲載する予定でしたが、会報の紙面数の関係で事務局だよりのみに掲載せざるを得ません。ご理解頂き、お許し願います。なお会計を締めた後にお送り頂いた協力金は令和2年度分として取り扱いたいと考えています。改めて感謝申し上げます。

## 教育学部本部同窓会事務局だより

本部同窓会事務局長 神谷 哲司 (H2年入学)

令和という新たな時代に…と昨年述べたところですが、まさかこんな生活が待っているとは露ほども思いませんでした。人がおらず静まり返ったキャンパスで、ひとり研究室でパソコンに向かって講義を行う。学生も友達と会話することもなく、ただ、パソコンに向かい講義を受け、課題をこなす。なんとも大変な時代です。幸い、昨年令和元年10月に同窓会総会が開催され、およそ20年ぶりに会則が改正されましたが、それを踏まえつつ、今年度も、例年通りの同窓会の各種事業を精力的に進めてまいりたく考えております。

今後も「たすきをつなぐための同窓会」として、諸先輩方と現役学生をつなぎ、よりよい同窓会を運営していけるよう、思慮・工夫を重ねてまいりたいと思います。みなさまにもご助力、ご支援を賜りたく思いますので、なにとぞ、よろしくお願い申し上げます。

(事務局アドレス: sed-alumni@sed.tohoku.ac.jp)

## 余 滴

今を去る60数年前、小学校も卒業に近いある時、我々が尊敬して止まなかった担任の女教師から次のようなことを教えられた。「出世欲」や「目立ちたがり」は、利己心そのものである。大人になって、社会で活動するとき、これらが密かな動機やエネルギーの源となるなら、個人も公の団体も破滅に近い状況を招くというのであった。

一見素朴な「出世欲」や「自己顕示欲」は、これが混入するか否かで、その人物の信用度が定まる。知能が一定以上高い人は、この種の幼稚な想念をあまり持たないという。それを「卑しい」とする価値観が大切と教えられた。この示唆は、損得を度外視した「志」「使命感」が大切との謂いであろう。

(編集子)

# 東北支部役員名簿

(令和2年度～令和3年総会時)

顧問	大学	八鍬 友広	25	高橋 公正
		28 永野 昌一	31	雪江 美久
		36 岡崎 忠	36	阿部 琢也
		37 関口 隆		
支部長		39 渡邊 宣隆		
副支部長		39 軍司 啓	50	吉川 邦彦
		39 鹿野 毅	39	光井 正
参与		29 石森 幸子	31	柝澤 怜
"		32 佐々木亀三男		宮腰 栄一
理事		25 高橋 公正	26	三浦 貞昌
"		28 桂島 新一	28	小關 幸生
"		29 市川 宏	31	今野 健
"		31 飯澤 道久	33	金岡 昭房
"		34 氏家 正好	35	岡本 幸子
"		37 中川 典雄	38	文屋 優
"		39 太田 將勝	39	光井 正
"		40 吉野 信武	41	安住 裕
"		48 櫻田 博	52	別府 成裕
"		51 日下 毅	52	白澤 利広
"		54 南城 一之	57	川上 芳夫
"	H 4	吉植 庄栄	H 2	神谷 哲司
"	H 8	井本 佳宏		
大学理事	H博	後藤 武俊		

# 事務局・各委員会

## 事務局

事務局長	39	軍司 啓
事務局補佐	37	関口 隆

## 会則検討委員会

顧問	39	軍司 啓
委員長	31	柝澤 怜
副委員長	31	今野 健
委員	28	桂島 新一

## 名簿作成委員会

顧問	37	関口 隆	25	高橋 公正
委員長	33	金岡 昭房		
副委員長	35	中川 典雄		

## 会計委員会

顧問	39	鹿野 毅		
委員長	32	坂野 優子		
副委員長	39	朴澤 徳昭	41	鈴木きよ子

## 会報発行委員会

顧問	39	光井 正
委員長	39	太田 將勝
副委員長	50	吉川 邦彦
委員	38	文屋 優

## 編集後記

同窓会とは、一体、何を指すものであろうか。個々を育ててくれた恩師や同窓旧友や母校を懐かしみ、集まり、懇親し、今後の生きる心の糧を得る会ではあろう。

人生に成功し一定の成果を上げえた人はそれはそれでめでたい。しかし挫折し、思わぬ災禍に遭い、志を得なかった人も意外に多いはずである。

成功者といわれる人も水面下に大きな不幸を抱えていることも多い。

同窓会とは、学生時代に戻り、一切の俗的虚飾を捨て、素地のお互いを認め合い、元気づけあう会でありたい。

どんな悩みも念願も、同窓諸賢から情報や助言を得れば、意想外の突破口も見つかることもある。

この会報も、徐々に、友情と絆の証になるような、読んでいてほっとする温かいものにして行きたい。(編集子)

○会報24号をお届けいたします。新型コロナウイルスの関連でご心配の中、ご寄稿・ご協力をいただきました方々には衷心より感謝申し上げます。

## 事務局

〒982-0262 仙台市青葉区西花苑2-7-18  
軍司 啓 TEL 070-5322-3322